#1634

2022.11.04

Asia Week 医療人の働き方 -フィリピンと日本の現状-

【 参　加　施　設 】	【 概　要 】
福岡歯科大学（日本）， 九州大学病院（日本）， セントルークス医療センター ケソン市（フィリピン）， 産業医科大学（日本）	九州大学病院では様々な理由で常勤で働くことが困難な医師のキャリア支援として非常勤で就労を継続できるシステムを構築している。Dr.永吉は女性外科医の現状と未来について、フィリピンのDr .VelasquezとDr. Tapiaは大家族制が残るフィリピンでは家族や安い賃金で雇用できるナニーの支援を受けて女性医師が働いている事を報告した。Dr.樗木は、福岡・佐賀の５大学で施行した医療人の就労状況と健康度について報告し、Dr.錦谷はその中でも医療事故と就労状況について詳細な報告を行った。

オーガナイザーを務めるDr.樗木

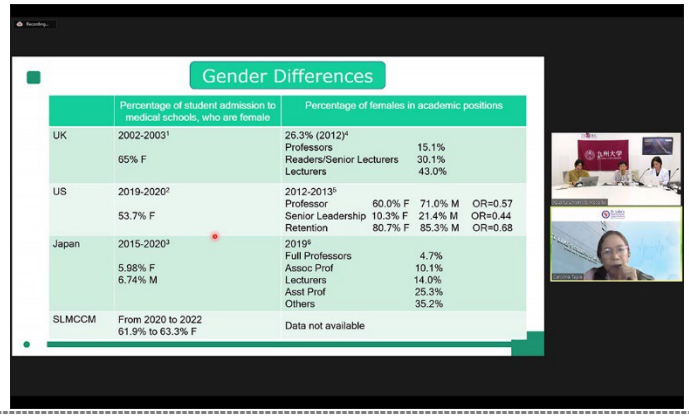
撮影場所：九州大学病院

Dr.永吉から提示されたGender gap

撮影場所：九州大学病院

Dr. Velasquezによるフィリピンの女性医師の現状

撮影場所：九州大学病院

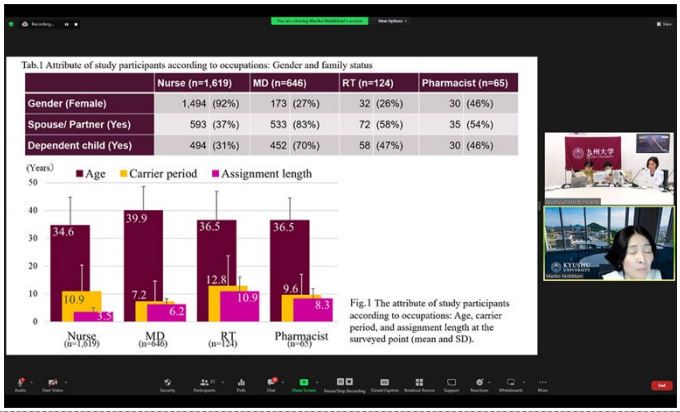


Dr. Tapiaによる各国の女性の比率

撮影場所：九州大学病院

九州大学病院での日本側のメンバー〈右からDr.永吉、樗木、工藤〉

撮影場所：九州大学病院



Dr.錦谷より提示された看護師、医師、放射線技師、薬剤師の違い

撮影場所：九州大学病院